

日本の各地に、
心ときめく
風景があった。
作家は生涯、
旅に生きた。

川瀬巴水展

HASUI
KAWASE

郷愁の日本風景

川瀬巴水
生誕130年
HASUI KAWASE

大阪宗右衛門町の夕 1933(昭和8)年4月
Soemon-cho town in the evening, Osaka

2014年

2月26日(水)→3月10日(月) 大阪高島屋7階グランドホール

ご入場時間=午前10時～午後7時30分(8時閉場)。最終日は午後4時30分まで(5時閉場)。

入場料(税込)= 一般 800円(600円)、大学・高校生 600円(400円)、中学生以下無料

※()内は前売り及び10名様以上の団体制引料金。※価格は消費税を含む総額にて表示しております。
※「障害者手帳」をご提示いただいたご本人様、ならびに、ご同伴者1名様まで入場無料とさせていただきます。

主催 = NHKサービスセンター、毎日新聞社
特別協力 = 渡邊木版美術画舗 協力 = ギャラリーヌーベル

 **Takashimaya** OSAKA
www.takashimaya.co.jp

H A S U I K A W A S E

川瀬巴水展

郷愁の日本風景

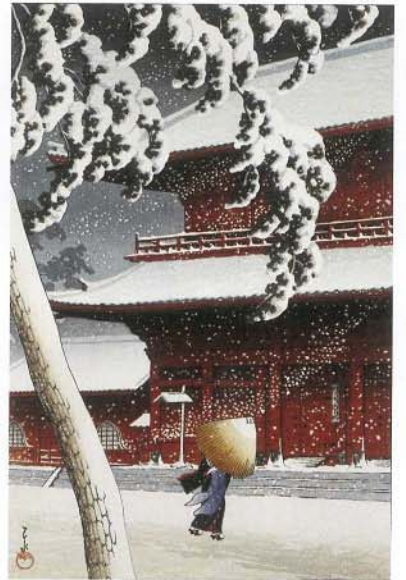
川瀬巴水
生涯130年
HASUI KAWASE

大正から昭和にかけて活躍し、生誕130年を迎える版画家・川瀬巴水(1883-1957)の回顧展を開催いたします。

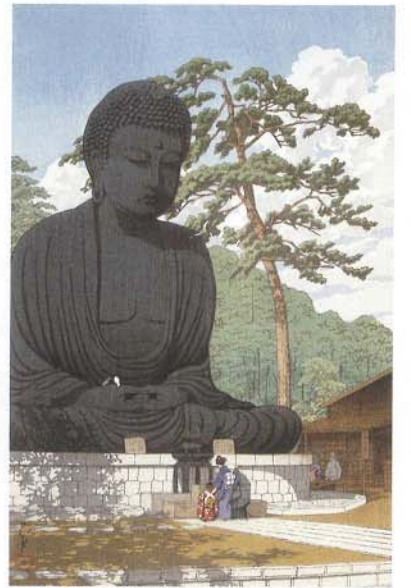
巴水は幼いころから絵を好み、画家の道を志しますが本格的な修業の開始は遅くすでに27歳になっていました。転機が訪れたのは大正7年(1918)。同門の伊東深水が手がけた作品を見て、木版画の魅力に打たれます。以後、旅にではスケッチをし、東京に戻っては版画を作る暮らしを続けました。巴水の旅は日本全国におよびました。巴水が選んだのは、かつて日本のどこにでもあった風景です。生涯に残した木版画は600点を超え、「昭和の広重」とも称えられています。

本展では、木版作品のほか写生帖や原画などもあわせ展示し、旅先での足取りや版画制作の過程にも焦点をあてていきます。

今やどこにも存在しない、しかし懐かしい風景-「日本再発見」の旅を、どうぞお楽しみください。



芝増上寺 1925(大正14)年



鎌倉大仏 1930(昭和5)年夏



富士川 1933(昭和8)年2月20日写



富士川 二月二十日(午後六時) 写生帖39より 1933(昭和8)年



大坂天王寺 1927(昭和2)年



大坂道とん堀の朝
1921(大正10)年2月14日



平泉金色堂 1957(昭和32)年

ギャラリートーク

渡邊章一郎氏 (渡邊木版美術画舗代表)

2月26日(水) ◎午後1時と午後3時の2回(1回30分程度)

※ギャラリートーク参加には、入場券が必要です。

 **Takashimaya** OSAKA
www.takashimaya.co.jp

日本の各地に、
心ときめく風景があった。
作家は生涯、旅に生きた。



大坂宗右衛門町の夕
1933(昭和8)年4月
Soemon-cho town
in the evening,
Osaka

H A S U I K A W A S E

川瀬巴水展

—— 郷愁の日本風景 ——

川瀬巴水
生誕130年
HASUI KAWASE

2014年

2月26日(水) → 3月10日(月)

大阪高島屋7階グランドホール

ご入場時間＝午前10時～午後7時30分(8時閉場)。

最終日は午後4時30分まで(5時閉場)。

主催＝NHKサービスセンター、毎日新聞社

特別協力＝渡邊木版美術画舗 協力＝ギャラリーヌーベル

 **Takashimaya** OSAKA
www.takashimaya.co.jp